

地域の未来をになう子どもを育てる！ ～なるっこはみんなの宝物～

奈路小学校放課後子ども教室（南国市）

1 基本データ（平成27年度）

- 対象校区：南国市立奈路小学校（全校児童数25名）
- 開設年度：平成21年度
- 開設日数：年間216日開設（週5日実施）
平日：190日、土曜日：6日
長期休業期間：20日（夏休み20日）
- 開設時間：平日 15:00～18:00
長期休業期間 14:00～18:00
- 主な活動場所：奈路小学校余裕教室（元食堂）
- 参加児童数：平均16名/日・登録25名（希望申し込み制）
1年生 3名、2年生 3名、3年生10名、
4年生 3名、5年生 2名、6年生 4名
- 支援者数：平均配置人数3名/日・スタッフ総数8名
コーディネーター1名、教育活動推進員5名、
学習アドバイザー2名



2 活動の流れ

【平日】

- 14:30～ 子ども教室スタッフ出勤
活動準備
- 15:00～ 児童下校開始
荷物整理
宿題、自由遊び
- 16:20～ スクールバス発車
徒歩児童帰宅開始
保護者迎え
- 18:00 子ども教室終了

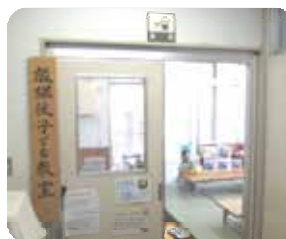
【長期休業期間】

- 13:30～ 子ども教室スタッフ出勤
活動準備
- 14:00～ 児童受入開始
自由遊び、体験活動
- 18:00 子ども教室終了

※スクールバスや保護者送迎により
子ども教室へ参加。



16時20分（水曜日
のみ14時45分）に
スクールバスが発
車します。



学校の元食堂を活用し、放課後子ども教室の主な活動場所
としています。

3 運営の仕組み



■運営委員会について

南国市では実施箇所ごとに運営委員会を組織し運営方針等を協議しています。奈路小学校放課後子ども教室運営委員会では、地域の方々に運営委員として参加していただき、年2回程度開催しています。

運営委員：奈路部落自治会会長



前奈路部落自治会会長
 学校長、PTA会長
 奈路小学校運営協議会委員
 公民館長、子ども教室会長
 子ども教室副会長、子ども教室事務局



【活動記録】 ※運営委員会報告書より抜粋

月 日	内 容
4月1日(水)	定例会、会計監査、新年度の準備 スポーツ安全保険等のチェック
4月3日(金)	スポーツ安全保険加入 申し込み手続き完了

■定例会について

毎月25日頃、子ども教室スタッフで定例会を実施しています。定例会では子どもたちの様子や今後の予定等を協議し、情報共有を図っています。



保険加入についても
 しっかり記録に残し、
 全体で確認を行うよ
 うにしています。

4 コーディネーターの横顔



コーディネーター
 鮫島 進さん

活動例

- 13:00～ 公民館で行事
打ち合わせ
- 14:00～ 子ども教室へ
スタッフとして
子どもの見
守り
- 19:00～ スタッフとの
定例会

問1:活動をはじめたきっかけは？

答1：子ども教室を立ち上げる際、準備に携わっている方から声をかけられたのがきっかけです。

問2:コーディネーターとしてどんなお仕事をされていますか？

答2：学校長と情報交換をしたり、子ども教室を代表して地域のいろいろな会合に参加しています。

問3:子どもたちの活動内容はどのように決めていますか？

答3：特に体験教室などのイベントを決める際には、普段から情報交換をしている周囲からのアドバイスがとても助けとなっています。学校や地域には、それぞれが「こうしたいなあ」「こういう活動があればなあ」などのアイデアがあるので、そうした声を聞かせてもらえる関係がとても重要だと思います。

問4:子ども教室の活動において感じることは？

答4：子どもたちとかわる機会が多くあるので「これは、子ども教室の活動だから・・・」「学校の授業だから・・・」などはあまり考えません。それよりも、子どもたちが楽しく過ごせるよう、地域の知り合いなどと協力してかかわっていくことが一番大切だと思います。

5 活動の様子

宿題



子ども教室のスタッフには、南国市で学習支援員をされている方もいるので、子どもへのかかわりや教え方がスタッフの参考になっています。徒歩で帰宅する子どもの中には、友達の多くがスクールバスで下校するため、先に友達と遊び、その後宿題に取り組む工夫をする子どももいます。



自由遊び（屋外）



校庭（雨天時は体育館）で、遊具遊びやボール遊びを楽しんでいます。また、校庭の隅でサワガニをつかまえるのが子どもたちの楽しみとなっています。



石をどけたり、草の間を覗いたり、サワガニを怖がることなく、たくさんつかまえています。

自由遊び（室内）



折り紙や毛糸の編み物などを楽しんでいます。地域の木工さんが作ってくれた本棚には、たくさん本が並べられ、子どもたちが読書活動に慣れ親しんでいます。



その他

子ども教室専用の連絡帳は毎朝子どもたちが登校した後、職員室前に提出します。



上履きもきれいに並べることができています。新入生も上級生の様子などから子ども教室のルールを学んでいきます。

6 イベントカレンダー

コーディネーターが中心となって、学校の取組や地域行事なども考慮しながらイベント内容を決めています。また、実施の際には地域の方に講師をお願いするようにしています。

月 日	活 動 名
5月16日（土）	奈路防災コミュニティセンター壁画ペイント（全4回）
5月19日（火）	
5月30日（土）	
6月 2日（火）	
7月29日（水）	平和学習
8月19日（水）	竹樋作り、マスト作り
10月30日（金）	藤岳神社神祭参加
11月28日（土）	木工教室、茶道教室
12月 1日（火）	子ども教室防災避難訓練



11月の土曜日には、「なるっこ文化教室」として木工教室、茶道教室を実施しました。茶道の作法も繰り返し経験する中で、しっかり身につけています。



避難訓練では、ヘルメットも活用しながら奈路防災コミュニティセンターまで避難しました。

7 地域を元気にする子ども教室の取組

地域の中にあつた「奈路防災コミュニティーセンターの壁に子どもたちの絵を彩ってみてはどうか」という思いをもとに、放課後子ども教室で取り組むことになりました。

地元の北陵中学校美術部のみなさんに講師をお願いしました。



①デザイン作成



「奈路の地域」というテーマから、子どもたちは「ホタル」、「カニ」、「トンボ」、「たけのこ」などを思い浮かべ、イラストにしました。

②壁への下書き



プロジェクターを使い、壁面にイラストを映して、下絵作りをしました。高学年の児童が中心となってがんばりました。

③壁画ペイント



最初は緊張してうまくしゃべれなかったけど、作業を重ねる中で、中学生のお姉さんともすっかり仲良くなれました。



力を合わせた大作は、地域の方にも大好評です。

地域の声

未来の奈路地区に伝える、なろっこたちの元気と明るさを表した壁画になっていると思います。
(公民館長 福留照義)

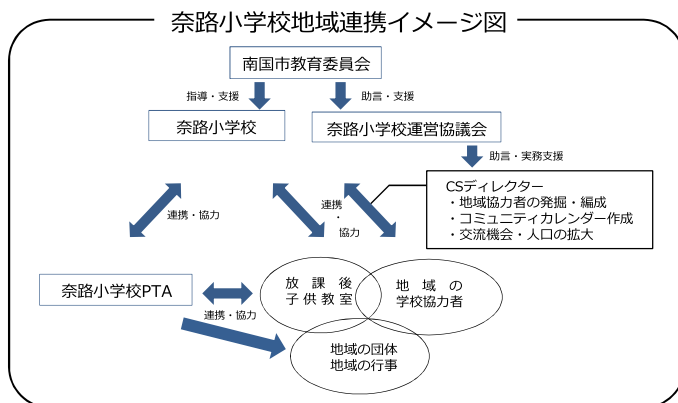
8 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）との連携

奈路小学校では、学校・家庭及び地域社会が相互に連携しながら一体となって子どもたちの教育に取り組む学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度も実施しています。

「学校あつての地域、地域あつての学校」を合言葉に、さまざまな活動を連携させることにより、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支える取組がより一層充実したものとなっています。

子ども教室と連携した取組例

- 奈路地区神祭への参加
- 10月30日（金）15：00～16：00
- 神祭へ参加する前には、コミュニティ・スクールの活動の一環として藤岳神社について地域の方と一緒に学習に取り組みました。⇒ **子どもたちの地域理解により一層の深まり！**



地域の声

藤岳神社も高齢化による氏子減少中ですが、子どもたちをはじめとして子ども教室のスタッフや小学校の先生方も参加していただき、盛大な御祭を行うことができています。これからも「がんばる」ではなく「楽しめる」藤岳神社の御祭にしていけば、長く続けられるのではないのでしょうか。
(神社総代 棚橋一隆)